

東和便り



2020 年度 第 16 号

2020.10.2 和歌山市立東和中学校

(市) 中体連秋季大会壮行会

先に行われた陸上競技を除き、10月3日から、新チームで臨む秋季大会が本格的に開催されます。全校生徒が一堂に集まらない現状を踏まえ、生徒会の進行による放送での壮行会を実施しました。

大会に臨む生徒を代表して、軟式野球部キャプテンの長尾航希さんと女子バスケットボール部キャプテンの橋本妃織さんが決意を述べ、生徒会長の西智代さんと校長が激励の言葉を送りました。

コロナ禍で行われた独自の試合、コロナの関係で試合をできなかった部活もあったと聞いています。ともに一つの目標に向かって汗を流してきた先輩が引退しました。例年とは違う節目、そして、新チームのスタート。先輩が残してくれたこと、先輩から学んだことをもう一度見直し、自分たちが目指すものは何か、どのような部活動にしていこうか、考え抜いた2か月間でした。そして、今週から、それを披露する場が与えられました。僕たち野球部では、部員16人で、県大会優勝を目標にしています。その目標に向かって、全力で取り組んでいきたいと思います。今、スポーツができること、部活動ができることに感謝し、プレーします。みなさん、応援よろしくお願いします。

＜野球部 主将 長尾航希＞

私たち女子バスケットボール部は、10月3日から11日に行われる大会に出場します。私たちの目標は、市大会ベスト8です。そのために、日々の少ない時間の中で少しでも意味のある練習ができるようにと励んできました。これまでの練習の成果を十分に発揮して戦ってくるので、引き続き応援よろしくお願いします。

＜女子バスケットボール部 キャプテン 橋本妃織＞

いよいよ、新チームとなって初めての大会が始まります。いつまで続くかわからない新型コロナウイルスの状況の中、皆さんはできる限りの努力を積み重ねてきたはずです。自分の出せる最大限の力を思いっきり発揮しましょう。私たち3年生の中には、大会が開催されず、悔しい思いをしたメンバーもいます。その悔しい思いを、みなさんの力に代えてくれるととても嬉しいです。今年の大会は、たくさんの制限の中での開催となりますが、大会が開催され、参加できることに感謝の気持ちを忘れず持って、楽しんでください。おそらく無観客の大会となり、昨年までの大会の雰囲気とは、大きく異なりますが、そばにいる仲間たちと一致団結し、勝利をめざしてください。みなさんの活躍を期待しています。

＜生徒代表 生徒会長 西 智代＞

心と体は一体です。一体とは、一つになっていて分けられない状態を言います。道具やボールを理想どおりに扱うには、自分の体をどれだけ思い通りに動かすことができるかが重要となりますが、体は、自分のものなのになかなか思うようには動きません。思うように動かない自分の体を、何とか理想の動きができるようにしようと努力するのが、日々の練習や稽古であり、その努力の成果を発揮するのが大会です。まずは、全力を尽くすことに集中しましょう。繰り返しますが、心と体は一体です。今自分にできる全力を出し尽くそうと思う心がなければ、体は、全力を尽くしません。困難に立ち向かう強い心がなければ、体は、困難を乗り越えてくれません。あきらめない心が、ぎりぎりまであきらめない体の動きを生み出します。それでも、どうしても心が折れそうになったとき、そこには仲間がいます。仲間は、あなたを励ましてくれます。あなたも仲間を励ますでしょう。仲間は、心を支えてくれる存在です。だから、また、全力を尽くせるのです。心と体は一体。大会では、それぞれの目標に向かって、今できる自分の全力を仲間とともに尽くしましょう。大会後、「校長先生、全力尽くしたで！！」と、心と体の成長を笑顔で報告してくれることを楽しみにしています。

＜校長＞

TEAM TOWA !! がんばれー



東和便りは、東和中学校ホームページにも掲載しています。